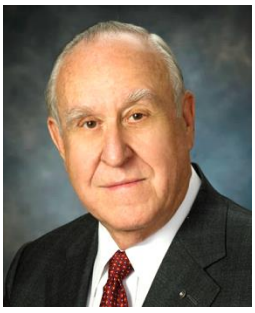
国際ロータリー第2790地区
The Rotary Club of Yachimata
八街ロータリークラブ週報
http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimatarc/
例会場 八街商工会議所 3階 大ホール
毎週水曜日 12:30～13:30
電 話 043 - 443 - 3021
FAX 043 - 443 - 7221
創立 1966年(昭和41年)5月22日



国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム
(CHATTANOOGA RC 米国)

会長 鎌形 芳法 ・ 会長エレクト 萬来 謙一 ・ 副会長 山本 和男 ・ 幹事 生形 健一

第51巻 第18号　　通巻 第2452号　　2017.1.25発行

第2451回 2017年1月18日例会報告

【出席報告】　SAA 伊藤 武雄

例会	出席計算会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正出席率%
1/ 18	31	22	9	70.97		
12/ 21	29	24	5	82.76	2	89.66

会員総数 37名
（ 内名誉会員 4名 ・ 出席免除会員 7名 ）
通算出席率 88.34%
12/21メークアップ2名・平野会員・伊藤会員(理事会)

点　　鐘　　副会長 山本 和男

ソ ン グ　　奉仕の理想



【ニコニコボックス】

◇先日テレビで落花生が放映され反響がありました。
福田 守会員

【会長挨拶】　副会長 山本 和男



こんにちは。

本日は会長がお休みですので、代わりにご挨拶させて頂きます。

本日は私2年間財団委員を勤めさせて頂いておりますので、財団の話をさせて頂きます。先週迄に財団の年次基金を皆さんに頂き、ありがとうございました。八街ロータリークラブの予算書に近い金額が集まりましたので、本日送金致します。

さて、寄付をされますと個人に対する認証があります。諸先輩方はご存知かと思いますが、再度財団を理解して頂きたいので紹介したいと思います。

◎ポールハリスフェロー（PHF）

1000ドル以上の寄付をされた方に認証されます。当クラブでも本年度8名が認証を受けられる方がいらっしゃいます。

◎マルチプルポールハリスフェロー

2000ドル以上の寄付をされた方。

当クラブにも2度目から6度目の方がいらっしゃいます。活動計画書の30ページに記載されています。

◎ベネファクター

恒久基金への寄付金額が1000ドル以上寄付された方。

当クラブには、高橋さん、大畑さんが認証されています。活動計画書の31ページに記載されています

◎ポールハリスソサエティー（PHS）

毎年、1000ドル以上の寄付をされる方。

財団の地区委員長以下、役員の方は全員PHSをやられているそうです。今現在650名位の会員がやられているそうです。セミナーに行きますと、各クラブから毎年1人位ずつやられる方をつのれと言われています。

◎大口寄付者（メジャードナー＝MD）

1万ドル以上の寄付をされる方。レベル1～4迄あるそうです。

◎アーチクランクソサエティ（AKS）

50万ドル以上（ASK管理運営サークル）

100万ドル以上（ASK財団サークル）

大口寄付をされる方は毎年日本では12名位みたいです。

【幹事報告】　　**幹事　生形 健一**



◎会長エレクト研修セミナーのご案内

日時：2017年3月26日（日） 10時点鐘

場所：ザ・クレストホテル柏

◎ロータリー・リーダーシップ研究会パートⅡ

開催のご案内

日時：2017年3月27日（月） 10時10分開会

場所：千葉市民会館

◎銚子RC創立60周年記念式典のご案内

日時：2017年3月18日（土） 13時点鐘

会場：犬吠埼ホテル

◎八街市社会福祉協議会特別会費のお願い

10口（10000円）のお願い

◎受贈週報等

・成田コスモポリタンRC

・ロータリー財団100周年記念

シンポジウム委員会　朝日新聞広告

八街RC　2月例会スケジュール	
2月　1日（水）	理事会　・　山本義一県議卓話
2月　8日（水）	中村地区職業奉仕委員長卓話
2月15日（水）	通常例会
2月18日（土）	IM（日航ホテル） 11時出発
2月22日（水）	振　替　休　会

【上期100%出席者表彰】

2016～2017年度　上期100%出席者		
＊伊藤　嘉一	＊大野　眞里	＊高橋　宏一
＊萬来　謙一	＊福田　守	＊槍木　勝典
＊平野　雅敏	＊生形　健一	＊鎌形　芳法
＊山本　和男	＊原　弘行	＊西村　清
＊伊藤　武雄	＊白土　健司	



【アンケートのお願い】

職業奉仕委員長　大畑　喜信



一月は職業奉仕月間です。変化するロータリーにあって、職業奉仕というものが霞んでしまうとの懸念を地区の職業奉仕委員会はお持ちの様です。二月八日の例会に、中村地区職業奉仕委員長をお招きして卓話をいただきます。

会員の皆様に、自己の職業選択を決断した時のことを思い起こして貰う。常日頃の職業生活、社会生活の中で、常に心掛けていることを、一息入れて整理してみる。己の職業実践について何か気が付くことが出てくるのでは…。アンケートを手掛けることで委員長の卓話が身近に聞けるのではと思います。

今回は、このアンケートをファイルして、会員の皆様の生き方の記録として、当委員会の今年度の仕事として残します。ご協力、よろしくお願い致します。

【会員卓話】　　竹村　信彦会員



今回は卓話の時間をいただきありがとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

竹村電気工事株式会社の竹村信彦です。弊社は主として千葉県内の電力送電設備の建設、修繕工事と保守メンテナンスを東京電力より請け負っております。今日は弊社の生い立ちと併せて自己紹介をさせていただきます。

弊社創業者の祖父は鐘紡の電気技師として働いており、終戦直前に中国天津より帰国し広島へ、その後岡山へ異動した五日後に広島への原爆投下があったとのことでした。鐘紡を退職し昭和24年に故郷長野県飯田市で創業した竹村電気商会は名古屋、東海地域で工場の電気設備のメンテナンスの仕事を請ける会社でしたが、関東で仕事をしたいと東京営業所を東京都新宿区に開所しました。昭和35年に 同所に竹村電気工事を設立し、竹村電気商会東京営業所の商権を引継ぎ、東京電力の送電線工事を請け負うようになり、昭和39年には三菱電機のエレベータ据付を請け負うようになりました。私はその昭和39年に愛知県で生まれ、2歳になる頃からは川崎市多摩区で育ちました。大学では経済学部国際経済を専攻、高校と大学での活動は山登りでした。大学卒業後に包装資材会社に入社しバブル最終期と株式上場直前の活気を味わったのは良い経験でした。平成元年12月に結婚し、現在子供は3人です。平成 2年に竹村電気工事に入社し、現場勤務、現場代理人経験後に平成13年より本社営業部配属となりました。平成11年頃より電力自由化の影響から東京電力が設備投資を削減した影響により受注が激減し、平成13年から16年までは4期連続で営業損となる暗黒期でした。その間の平成14年には三菱電機よりエレベータ据付工事契約を打ち切られ、他のメーカーへ受注先を変更しましたが、低い受注単価などで利益が確保できない状況でした。平成13年には送電線工事部門をそれまでの埼 玉県川口市より移転、現在の千 葉県八街市八街い 94－31に工務センターを開設しました。社長就任は平成16年、祖父から伯父・父・叔父と引継ぎ5人目の社長となりました。平成17年には設備投資削減による設備の劣化が顕著になり設備改修工事が増え受注額が回復してきました。一方、続けてきたエレベータ工事の価格交渉は決裂し平成18年の3月にエレベータ据付部門を解散する決断をしました。部門社員職人をリストラした経験からは社員の生活を守れる会社にしたいとの思いを強く持ちました。その8月に八街市の工務センターに本社を移し、県内送電線工事業者としての立場を明確にし、平成19年に私自身も自宅を川崎市より千葉市緑区に転居したことは、社員に対して会社の覚悟が伝わり、モチベーションも上がりライフラインの維持に携わる自覚と使命感を強く持ってもらえるようになりました。また客先からも千葉の地元業者として高く評価していただけるようになりました。

福島の重荷を背負った東京電力ではありますが、電力の安定供給への使命感と老朽化する送電線設備の状況は変わらず、やらなくてはならない仕事は山積しています。強い使命感と責任感を持って仕事をしてくれている社員達には日々刺激を受け、心から感謝しています。

広報・ＩＴ委員会／樋渡 琢也・糸久仁一・高橋宏一・萬来謙一